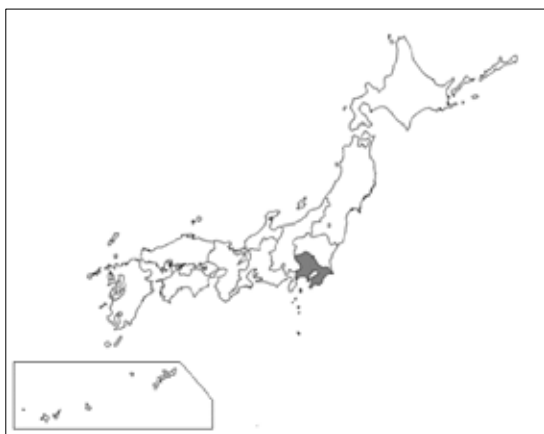


(4) 南 関 東



南関東地域では、景気は足もとでは、新型コロナウイルス感染症の影響により、景況感が急速に厳しい状況になるなど、弱さがみられる。

- ・ 鉱工業生産は弱含んでおり、新型コロナウイルス感染症の影響もみられる。
- ・ 個人消費は足もとでは、新型コロナウイルス感染症による影響があり、弱い動きがみられる。
- ・ 雇用情勢は改善している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す（ は上方に変更、 は下方に変更）。

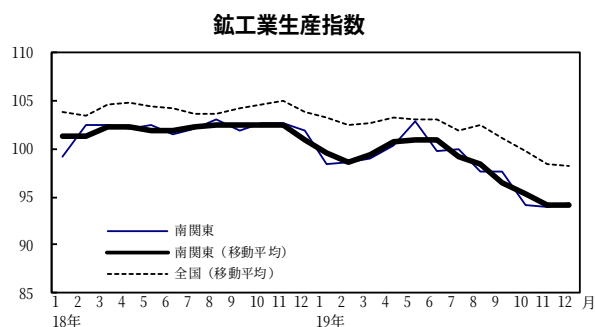
前回からの主要変更点

	前回（令和元年11月）	今回（令和2年3月）	
景況判断	一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調	足もとでは、 <u>新型コロナウイルス感染症の影響により、景況感が急速に厳しい状況になるなど、弱さがみられる</u>	↓
個人消費	持ち直しの動き	足もとでは、 <u>新型コロナウイルス感染症による影響があり、弱い動きがみられる</u>	↓

1. 鉱工業生産の動向

鉱工業生産は弱含んでおり、新型コロナウイルス感染症の影響もみられる。

10－12月期には、「石油・石炭製品、化学、プラ製品」は、減少した。「輸送機械」は、減少した。「汎・生産・業務用機械」は、減少した。「電子デバ、電気・情報通信」は、減少した。



- (備考) 1. 2015年＝100、季節調整値。南関東の最新月は速報値。
 2. 全国及び南関東の太線は中心3か月移動平均。
 直近月は2か月平均。
 3. 南関東は内閣府にて算出。

域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比)(%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		7－9 月期	10－12 月期	10月	11月	12月
石油・石炭、化学、プラ製品	22.2	▲3.1	▲1.8	▲0.7	▲0.7	0.8
輸送機械	14.1	▲5.0	▲10.1	▲10.9	8.7	▲4.4
汎・生産・業務用機械	13.7	▲0.8	▲6.1	▲5.0	▲5.4	10.1
電子デバ、電気・情報通信	12.6	▲5.4	▲3.0	▲3.2	▲0.4	▲2.4
食料品・たばこ	12.4	▲0.1	—	▲1.6	▲0.1	—
鉱工業	100.0	▲2.5	▲4.3	▲3.6	▲0.2	0.4

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。

2. 10－12月期、12月は速報値。速報値において化学は医薬品を除いたもの、食料品・たばこは公表されていない。

2. 個人消費の動向

個人消費は足もとでは、新型コロナウイルス感染症による影響があり、弱い動きがみられる。

(1) 地域別消費総合指数（RDEI（消費））

10月は前月比7.7%減、11月は同2.5%増、12月は同0.2%減となった。

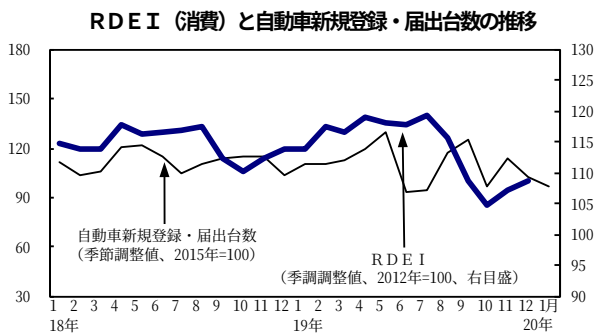
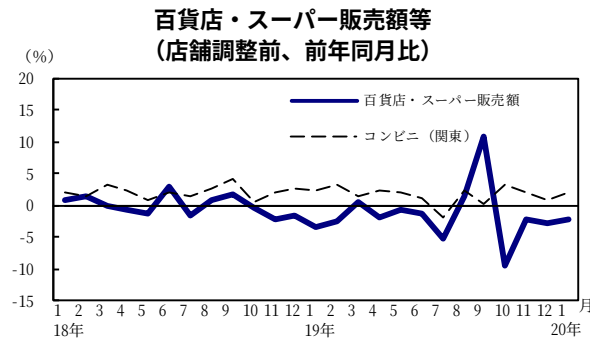
(2) 百貨店・スーパー販売額

10月は、衣料品、身の回り品等が低調であったことから前年を下回った。

11月は、衣料品や身の回り品が低調であったことから前年を下回った。

12月は、衣料品、身の回り品等が低調であったことから前年を下回った。

1月は、前年を下回った。



	2019年 10-12月	2019年 10月	11月	12月	2020年 1月
RDEI（消費*1）	▲3.6	▲7.7	2.5	▲0.2	—
百貨店・スーパー(*2)	▲4.6	▲9.6	▲2.2	▲2.7	▲2.1
コンビニ(*3)	2.1	3.2	2.2	0.9	2.0
乗用車(*4)	▲14.0	▲22.8	▲9.2	▲10.1	▲7.9
(季節調整値)(*4)	▲17.5	▲25.3	18.4	▲5.2	3.0

(備考) 1. 季節調整前(月)比(%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比(%)

百貨店・スーパーは内閣府にて算出。2020年1月は速報値。

3. 店舗調整前、前年同期(月)比(%)

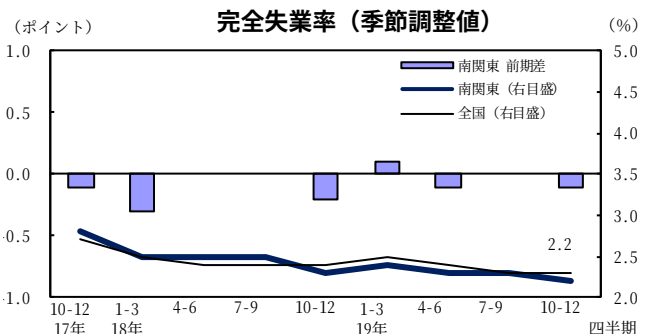
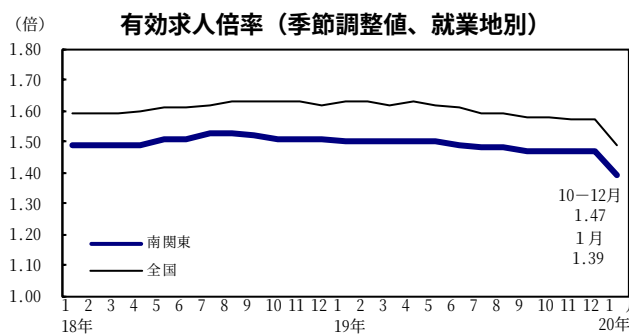
コンビニは、経済産業省の関東（茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、山梨、長野、静岡）の値。
2020年1月は速報値。

4. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%))

3. 雇用情勢

雇用情勢は改善している。

有効求人倍率は低下している。完全失業率は前期を下回っている。



(13) 景気ウォッチャー調査 (2020 年 2 月調査) 景気判断理由の概要

4. 南関東

(◎良、○やや良、□不変、▲やや悪、×悪)

	分野	判断	判断の理由
現状	家計 動向 関連	×	・中旬以降、新型コロナウイルスの影響が顕著に表れている。行動自粛要請等もあり、以前とは比較ができないほど、客の動向の落ち込みがみられる（一般レストラン）。
		▲	・消費税増税の影響が和らいでいる一方、新型コロナウイルスの感染拡大で、インバウンドの来客数が激減している。また、月後半から大都市圏店舗や観光地に立地している店舗においては、日本人客にも外出を控える動きが拡大し、来客数にマイナス影響が出ている（百貨店）。
		□	・競合他社との価格競争が激しくなっていることに加え、新型コロナウイルスの影響も出始めており、イベントや訪問営業に自粛ムードが出てきている（通信会社）。
	企業 動向 関連	▲	・東京オリンピック関連の受注も一服してきている。新型コロナウイルスの影響で業界の展示会がキャンセルになった。今後景気にどんな影響が出るのか心配である（電気機械器具製造業）。
		×	・新型コロナウイルスの影響で、化粧品容器に関して中国向けの受注や新企画の立ち上がりが全て先送りになってしまっている（プラスチック製品製造業）。
		□	・年度末が近づいているが、駆け込み需要が余らないため、受注高が上がらない（その他サービス業 [情報サービス] ）。
	雇用 関連	□	・企業は採用をしていかなければいけないが、企業合同説明会等の開催は、見送りになることが多いような感じがする。それにより採用が鈍化する可能性もある（求人情報誌製作会社）。
		▲	・新卒採用イベントの中止が多くなっている。本格的な就職戦線がスタートする3月1日以降のイベントが縮小されている（民間職業紹介機関）。
その他の特徴 コメント		□：新型コロナウイルスの影響で内食需要が増え、食品の備蓄品を中心に、買いだめをする客が増えている（スーパー）。 ×：新型コロナウイルスの影響が出て、卒業式、イベント等のキャンセルが相次いでいる（食料品製造業）。	
先行き	分野	判断	判断の理由
	家計 動向 関連	▲	・新型コロナウイルスの影響が縮小しないと、来客数も販売量も増えてこない（乗用車販売店）。
		×	・新型コロナウイルスの感染拡大により、ホテル全体に大きな影響が出ている。長引けば先々の案件への影響も避けられず、開催中止や延期などが考えられる。繁忙期だけに、キャンセルが相次げば取り返しが付かず、厳しい状況になる（都市型ホテル）。
		□	・新型コロナウイルスの影響が計り知れない。自粛ムードがどこまで続くのかによる（その他専門店 [ドラッグストア] ）。
	企業 動向 関連	▲	・中国からの部品が滞っているために引き合いはあるが、日本国内の新型コロナウイルスの問題の解決も長引きそうなため、悪くなる（金属製品製造業）。
		×	・新型コロナウイルスの影響で、イベントが次から次へと中止になっている（広告代理店）。
		□	・荷主の国内出荷量が低迷している。輸出量が全くない。今後も現状が続く予想である（輸送業）。
	雇用 関連	×	・新型コロナウイルスの関係で、研修もリスケジュールとなっており、売上に大きなインパクトを与えている。派遣先の業績悪化に加え、4月からの同一労働同一賃金の影響も出ることから、求人数がより落ち込むことが予想される（人材派遣会社）。
その他の特徴 コメント		×：新型コロナウイルスが感染まん延に入り、不要不急の外出を控えるべく、旅行を始め、移動全般のキャンセルが相次いでいる。今月、来月、再来月辺りまでの旅行、移動の多くがキャンセルとなっており、業績悪化に歯止めが掛からない（旅行代理店）。 ×：新型コロナウイルスに関連した肺炎の感染拡大防止策により、ハローワーク主催の面接会等が全て中止となっている。今後も開催できるかわからないなかで、求人申込みが減少すると、就職機会も減少してしまう恐れがある（職業安定所）。	

(D I)

現状・先行き判断D I (南関東) の推移 (季節調整値)

